

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36693
事業名	避難場所環境整備費					
評価担当課	所属名	危)危機管理部 危機管理課				
	課長名	山崎 克己	担当者名	吉野隆司、山口凌	電話番号	211-3062
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	札幌市第4次地震被害想定に戻づく最大食糧需要量108,000人に対して6食分の提供、衛生対策物資を供給可能な体制とする。			
		長期	避難場所における避難者の生活環境の向上を図るため、「札幌市避難場所基本計画」に基づき、備蓄物資の整備等を行う。			
	取組内容	避難場所における生活環境の向上を図るため、「札幌市避難場所基本計画」の見直しに伴う備蓄物資の増強等を行う。 ① 食糧対策物資の増強・更新や衛生対策物資の更新 ② 避難所への備蓄物資の搬送等				
	実施結果	札幌市避難場所基本計画に基づき、食糧は最大食糧需要量108,000人の6食分(2日分)の整備を目指し、粥やレトルト食品(副菜、ゼリー飲料)の品目の増強を行うとともに、液体ミルクの備蓄を開始した。この他、新型コロナウイルス感染症影響下での避難所運営を想定し、抗菌タイプの排便収納袋、N95マスクやアイソレーションガウン等の衛生用品を調達した。				
事業実施における工夫点	増強した食糧については、高齢者や乳幼児など様々な年齢の方が食べやすいよう、粥やゼリー飲料等の調達を行った。					
対象者	市民等	開始	平成31年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	災害対策基本法					
他都市の状況	想定される災害の種類や被害想定、住民規模などにより、備蓄物資の種類や数量は異なるが、全ての政令市において公的な備蓄を行っている。また、各都市とも過去の災害の教訓を踏まえ、備蓄物資の充実を図っている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	233,415	61,000	53,544	69,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	2.0	2.0	2.0	2.0	
人件費	14,400	14,400	14,400	14,400	
計(事業費+人件費)	247,815	75,400	67,944	83,400	
事業費の内訳	令和3年度決算	・需用費:45,768千円 ・修繕費:77千円 ・役務費:3,221千円 ・委託料:4,478千円			
	令和4年度予算	・需用費:64,967千円 ・役務費:2,761千円 ・委託料:1,272千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	食糧の備蓄数(累計)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	498750	523500	523500	585750
	指標名			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	指標名	備蓄物資の充実		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標1	48	48	51	51
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	項目	判定	理由	
	事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	食糧は、年度当初に予定していた品目及び数量の購入ができた。 衛生対策物資(感染症対策含む)については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、避難所での感染拡大を防止するために必要な物資を整備することができた。	
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	食糧は発災直後の最大食糧需要量108,000人の6食分(648,000食)に対して523,500食の整備が完了している。現状、すでに約5食分は整備しており、発災時には全て供給可能な体制を構築していることから、事業規模は適切である。		
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	備蓄物資については、札幌市避難場所基本計画に基づき、計画的に購入している。 また、他都市においても備蓄物資の整備に係る業務は、同程度の人工で行っていることから、実施手法は適切である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	高齢者や乳幼児等に配慮した食糧の品目増強や、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、衛生対策物資の整備を行った。		
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いていることから、消毒液やハンドソープを更新するとともに、避難所用パーティションなど、感染状況に応じた衛生用品等の増強を行っていくこととする。 また、避難所への備蓄物資の搬送等についても、効率的に実施できるよう、仕様書調整等準備を進める。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策として衛生用品等を充実させている他、札幌市避難場所基本計画に基づき、食糧等の備蓄物資についても計画的に整備が進んでいるため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き、札幌市避難場所基本計画に基づき、備蓄物資の増強や更新を行うとともに、避難所における感染症対策についても必要に応じて行っていく。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 上記に伴う業務の実施等により、適切な予算措置を行っていく。		見直し効果額 0 千円